超音波画像診断装置

仕様書

令和7年度

岩手県立大槌病院

仕　　様　　書

１　調達物品及び構成内訳

超音波画像診断装置　　１式

２　技術的要件

 (1)本件調達物品に係る性能、機能及び技術等の要求要件は別紙のとおりである。

 (2)入札機器の性能等が技術的要求要件を満たしているか否かの判断は、医療局業務支援課において入札機器に係る技術仕様書その他の入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

３　その他

 (1)入札機器は、入札時点で製品化されていること。

 (2)入札機器のうち、医療機器に関しては、納入時点で「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に定められる製造の承認を得ている物品であること。

 (3)リモート保守を利用する場合は、事前に病院の指示を受け医療局医事企画課へ必要な申請をすること。

**Ⅰ　調達物品の名称、数量・構成内訳等**

１ 調達物品名

 　「超音波画像診断装置」 一式

（１）本体

① 超音波診断装置本体 １台

（２）付属品

① コンベックスプローブ（腹部用） １本

② リニアプローブ（表在、甲状腺等用） １本

③ セクタプローブ（心臓用） １本

④ デジタルモノクロプリンター １台

⑤ ゲルウォーマー １台

⑥ ID読み取り用バーコードリーダー １台

⑦ 既存システム（画像管理システム、電子カルテシステム）との接続

2 調達物品の性能、機能、技術等の要件は、Ⅱに示すとおりである。

3 機器納入については以下の要件を満たすこと。

① 入札時点で製品化していること。

② 製造販売に関し、関係法規等の承認を得ている物品であること。

③ 機器の運搬、搬入、調整等に要する費用を入札額に含めること。

また、納入に伴って発生する梱包材等については納入者が引き取ること。

④ 搬入スケジュール、場所等の詳細は、落札決定後大槌病院と十分協議をし

通常業務への影響を最小限にとどめること。

⑤ 納入に当たっては、納入者側が責任を持って行い、発注者は事故等に関して

は一切の責任を負わない。

 ４ その他

特段の現場説明は行わないので、確認を必要とする場合は申し出ること。

**Ⅱ　 超音波診断装置の性能、機能、技術等の要件**

**1、超音波診断装置**

**1-1 超音波診断装置本体については以下の要件を満たすこと。**

1-1-1 本体は、病棟への移動が容易であること。

1-1-2 観察モニターは21インチ以上の高画質モニターを採用していること。

1-1-3 観察用モニターは、左右・上下回転が可能なアームに接続され稼動域が十分

に確保されていること。

1-1-4 走査プローブ(探触子)は、セクタ方式、リニア方式及びコンベックス方式の

使用が可能であること。

1-1-5 走査プローブが同時に４本以上接続可能で、操作パネルから容易に切り替え

ができること。

1-1-6 表示モードは、Ｂモード、Ｍモード、カラードップラーモード、パルスドッ

プラーモード、連続波ドップラーモード、低流速の微細な血流を検出するモー

ドやアーチファクトを低減する技術などを有していること。

 1-1-7　Bモード画像を上下分割２画面表示、または左右分割２画面表示ができるこ

と。

 Ｂモードにおいてはゲイン等を、ドプラモードにおいては流速やベースライン

をワンタッチにて自動で調整する機能を有すること。

1-1-8 距離・流速・面積・周囲長などの基本計測および診療科別応用計測が可能な

こと。

1-1-9 心エコーにおいては、心尖部四腔像および心尖部二腔像の心内膜面の自動トレ

ースにより駆出率（EF）や1回拍出量（SV)の算出が可能であること。

1-1-10 低流速血流を高感度、高フレームレート、低アーチファクトに描出できるこ

と。

1-1-11 組織ハーモニックを有すること。

1-1-12 フルフォーカス機能を有すること。

1-1-13リニアプローブにおいて、画角を増す台形スキャン機能を有すること。

1-1-14 肝臓の硬さ（肝繊維化）を定量評価できること。

1-1-15 超音波減衰量（肝脂肪化定量評価）を計測できること。

1-1-16 エコー下穿刺用のガイド機能を有すること。

1-1-17 心電図の表示が可能であること。

1-1-18 超音波診断装置内の画像保存時には、モニター上にサムネイル表示を行い保

存画像の確認が容易であること。

1-1-19 保存画像は患者IDによる管理が可能であること。

1-1-20 本体に画像印刷用のモノクロデジタルプリンタが接続されていること。

1-1-21 本体に患者ID読み取り用のバーコードリーダーが接続されていること。

1-1-22 本体にロック機能を持つホイールが接続されていること。

1-1-23 コンベックスプローブは1.5～5.0MHzを含む周波数レンジであること。

1-1-24 リニアプローブは、4.0～11.0MHzを含む周波数レンジであること。

1-1-25 リニアプローブの視野幅は38.0mm以上であること。

1-1-26 セクタプローブは、2.0～5.0MHzを含む周波数レンジであること。

**1-2 画像データの記録機能、接続するシステムへの連携については以下の要件を満**

**たすこと。**

1-2-1 装置は検査前に患者情報を取得できること。 （バーコードリーダー運用）

1-2-2 画像データは、DICOMサーバーに登録可能であること。

1-2-3 装置本体のハードディスクは300GB以上の静止画像及び動画像の画像保存領

域を持つこと。

1-2-4 保存画像を呼び出し計測等が可能であること。

フリーズ後の画像および保存画像データにおいて、距離、角度、周囲長、面積

の計測が可能であること。

1-2-5 保存画像をCD-R・DVD・USBフラッシュメモリ等に取り出し、保存が可能

であること。保存された画像データは、USBポートまたはSDカードスロット

から、汎用PCで使用可能なデータ形式で出力が可能であること。

また、出力時に患者情報を非表示にできること。

1-2-6 システム接続に関する確認事項等、詳細な技術的質問などは各システム関係

業者又は当院担当者と事前確認を行うこと。

1-2-7 既存システムとの接続作業後は、送信した画像が問題なく受信されているか

を必ず確認すること。

1-2-8 既存システム関係業者はつぎのとおり。

画像システム 　富士フイルム（シナップス）

電子カルテシステム　 アストロステージ

**2 その他**

2-1 超音波診断装置の設置場所は、当病院で指定した場所に設置すること。

2-2 超音波診断装置が正常に作動するように、納入後１年間の製品保証を付ける

こと。

2-3 障害時において、障害の通報は24時間対応すること。また通報後は復旧のため

迅速に現場で対応できること。

年間を通じて故障時のための連絡体制が整備されていること。また、早急な復旧

を可能にするサービス体制を有すること。

2-4 診断装置本体内のソフトウェアのバージョアップによる機能向上が実施できる

設計となっていること。

2-5 納入予定物件、その附属品等が入札後納入までにバージョンアップされた場合

には、当臨床検査技術科と協議の上、できればバージョンアップ後の最新製品

を納入すること。

2-6 取扱説明に関する教育訓練は、当臨床技術科と協議の上、指定する日時、場所

で行うこと。

操作マニュアルは、機器について必ず提供し、さらに電子媒体での提供も行うこ

と。

2-7 設置に係る他社との調整は、受注者が行うものとする。

2-8 機器設置後は設置機器及び技術に関する情報提供を行い、必要時現場等で研修

を実施できること。

2-9 本体の適合参考物品（付属品を除く）

 　　キャノンメディカルシステムズ株式会社 「Aplio me」

 富士フィルムヘルスケア株式会社 「ARIETTA 750 Deeplnsight SE」

 ＧＥヘルスケアジャパン株式会社 「LOGIQ Totus」

株式会社フィリップス・ジャパン　　「Affiniti 70 Ultrasound System」

2-10 納入検査終了後から１年間は機器の無償保証期間とし、機器が正常に稼働し、

臨床上最適に使用できるようにすること。

また、保証期間中に発生した使用者の過失によらない故障等に係る点検、修理

等については、無償保証の対象とすること。

納入物品は、納入後において少なくとも耐用年数中は稼働に必要な消耗品及び

故障時における交換部品の安定した供給が確保されていること。

納入物品には、基本的機能を損なわないよう必要な付属品等を備えること。

開発または設計段階にてAI技術を活用した画像処理技術が搭載されているこ

と。

ＢモードにおいてはゲインやTGCを、ドプラモードにおいては流速やベースラ

インをワンタッチにて自動で調整する機能を有するとなおよい。